



第65号

発行
山辺地区社会福祉協議会
事務局
山辺公民館内
TEL 0284(71)0516

- すなおな心 (はい)
- 反省の心 (すみません)
- 謙虚な心 (おかげさま)
- 奉仕の心 (私がします)
- 感謝の心 (ありがとう)
- 山辺地区日常五心



町田照平さん(八幡町) 「地域福祉功労」

富。現在も運営代表者として活躍。高齢者ふれあいのサロン活動の魁を成し事例発表活動も豊富。

本市では平成11年に福祉都市宣言がなされ、すべての人が相互の信頼と連帯を基本に、関係機関との連携を深め、ボランティア精神を発揮して、共に理解しあい支えあえる福祉社会実現の取り組みに参加することをここに確認、人にやさしいまちづくりと心身の「健幸」づくりを努める本年の大会宣言を採択し、功労者表彰が実施された。当地区としては地域福祉功労で市長表彰1名、市社会福祉協議会会長表彰2名が受賞した。足利市長表彰



町田照平さん(八幡町) 嘗て民生委員の時から地区社協理事として参画、各種委員会活動

動、福祉ボランティア、老人給食委員等多岐に亘り当会活動に貢献、地域のまとめ役として活躍されている。大会の始めは宣言文にある「健幸」づくりのPRも含め会場全体での元気アップ体操。今年度



柴崎満子さん(八幡町) 自治会長理事として当会に参画以来その卓越した見識にて運営に

奇与、過日の当会主催講演会も委員長として活動、盛況裡に導いた。今後の活躍も期待される。足利市社会福祉協議会会長表彰 「地域福祉功労」

二田忠良さん(堀込町) 自治会長理事

躍中。又、施設訪問の福祉ボランティアとしても活躍中。足利市社会福祉協議会会長表彰 「地域福祉功労」

福祉大会 人にやさしいまちづくりを健幸で

第24回 今年も地域福祉功労賞を3名受賞

本年度の足利市民福祉大会が11月10日、市と市協等7つの福祉団体の主催、自治連等10団体の後援でブラザーにて開催された。



正面玄関前で参加者一同

「防災」テーマが多かった本年の当社協事業、地区外研修も「災害時に生き残れる体験学習」を行える当施設の訪問とした。ここは有明にある東京臨海広域防災公園の中にある。この13ha約4万坪もある公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生した時、国や地方公共団体の緊急災害現地対策本部が設置され公園全体が広域的な指令機能を果たす場所となる由。

1月22日参加者36名にて山辺発。挨拶の後は恒例の車内研修。事務局作成の資料で市、地区の人口、高齢化率、福祉施策、当社協活動の概要等の共通認識化を図る。防災テーマに入り、市協中西指導員に10月水害での足利市災害ボランティアセンターを市協内に設置し活動してきていた実状についてお話し頂く。県内へは全国から多数のボランティア、足利市へも北海道、沖縄等から延べ一八〇〇名来援、二四〇程の現場で活動頂いた由。山辺では朝倉1丁目での被害が大きく、実際の支援を指揮した松本会長からその実態の紹介を頂く。又栗原氏からも議員としての支援活動の報告。災害が身近な問題だっただけに車内でのQ&Aが活発であった。更に、被災地からのメッセージビデオ「人の命を繋ぐのは人と人との絆」を17分視聴、中身の濃い車内研修となった。

地外研修 そのなエリア東京(首都圏広域防災センター)訪問

緊張した災害現場からの脱出体験

着。ガイドは佐野吉水出身のシニア女性。災害現場からの脱出コースへ。再現現場の中をタブレットの指示・選択で何とか避難場所まで辿り着く。その過程でポイントを守り進む。

避難障害、避難所実態、そこでの発生問題、等が網羅され用具用品も多数展示されており勉強になる。特に災害時の近所共助で、人力が及ばぬ際の強力な助っ人になりそうな小型ジャッキが2種。各種便利グッズの

山辺の今昔譚

第19回 山辺の文化遺産に 寄せて

山辺賢人子

「延文記録その2」

前号で八幡宮の起源(1056)が記されている延文記録について記載した。この延文記録は、八幡宮に現存する遺産の文字史料としては最古の物ではないかと思われる。但しこの記録も前九年の役の三百年後の作だけに「創建の年」は伝承の域かも知れない。歴史家で八幡宮総代長の白井氏によれば、「奥州征伐の鎮守

購入所を聞いたら、ハンズか通販でとの事。三階の覗き窓から「大震災現地対策本部室」の全容を俯瞰したが、その無人のスペースと情報処理機器設備の壮大さに一種異様感を覚えた。まだ一度も使われていないとの事。記念撮影後、築地玉寿司へ。名物鮎を堪能後は自由時間、それぞれ周辺観光と場外市場でのお買い物をし帰路となった。

府將軍となった河内源氏の棟梁である源頼義が、東国の拠点として築き得た鎌倉に戦勝祈願の為に石清水八幡宮を勧請したのが1063、当時奥州征伐の前線兵站基地としての足利は、古墳時代以前から開けていた土地とはいえ河内源氏にとつては新期の開拓地であつたろう。拠点鎌倉より先に前線基地足利に八幡宮勧請はないだろう」と。更に、八幡宮創建を1063とする明治初期の館林県庁への八幡宮からの上申書の史料も示してくれた。「創建」という事業には儀式荘厳が伴うだけに、時代が下ることもありうるが、さてこれは如何に？

新登録したサポーター達が舞台に出て会場をリードし和やかな雰囲気を作る。第2部のアトラクションは足利少年少女合唱団コンサートが開かれ、会場は高齢者方だけでなく若々しいママ達や子供たちが集まり、福祉活動の対象層の広がりを感した。

新型コロナウイルス感染症の拡大予防措置として

- ・ 3月1日おひさまカフェ
 - ・ 3月6日子育てサロン
 - ・ 3月18日老人給食お届け
 - ・ 3月19日第3回理事会
- を中止とさせて頂きました。各町内のふれあいサロンは町内毎の判断と致しました。

年度末の定例業務と新年度準備事項等は、最小範囲の関係者打ち合わせと文書配布にて、滞りが無いよう努めます。先行き不明ですが、予定立ち次第広報して参ります。閉鎖的環境下は出来るだけ避け、手洗い、消毒、マスク着用を心掛け、感染予防に努めていきたいと思います。(3/6記)